

夏季休暇期間中の防疫対策の徹底を!!

アジアやヨーロッパではASF(アフリカ豚熱)、中国を始めとしたアジア周辺諸国では、引き続き口蹄疫が発生しており、国内への侵入リスクは依然として高い状況です。

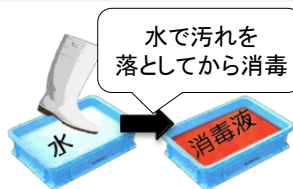
新型コロナウイルスの流行により渡航の制限等が講じられておりますが、今後出入国制限の緩和が見込まれており、旅行者等による海外との往来が増え、家畜伝染病の国内への侵入リスクが一層高まります。

改めて、病原体の侵入防止対策の徹底をお願いします。

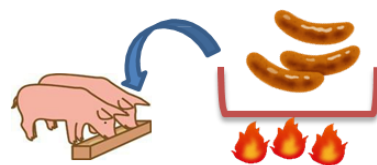
衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の
農場への立入禁止



農場に出入りする際には、
消毒を実施



飼料に肉製品を含む又は
含む可能性がある場合は、
十分に加熱処理

○海外渡航の自粛

- ・家畜伝染病の発生地域への渡航を自粛すること。

○衛生管理区域への病原体持込みの防止の再徹底

- ・農場内への関係者以外の立入をさせない、また物を持ち込ませない。
- ・農場に持ち込む物品や車両の消毒を徹底する。
- ・農場出入口に踏み込み消毒槽を設置して靴底の消毒の徹底をする。
- ・農場への野生動物侵入防止対策を徹底する。

○早期発見・早期届出の徹底

- ・家畜に異状が認められた場合は、すぐに、かかりつけの獣医師または最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。

異状を認めた際は、速やかに家畜保健衛生所へ御連絡ください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日) 090-7205-0895

県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日) 090-7205-1402

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日) 090-7205-1826